

名古屋文理大学と稲沢市との主な連携分野について

1 学校給食に関わる食育分野での連携

小中学校での食育支援の出前授業を起点とし、地産地消を取り入れたオリジナルメニューの開発、レシピを検索できるアプリケーションソフトの開発、食育に関する共同研究などを行っていくもの

2 相互の図書館の利用連携

大学図書館と稲沢市図書館の相互利用を図ることで、市民が市図書館になり専門書等の閲覧・貸し出しのサービスの提供を受けることができ、また、大学生等の市図書館利用の利便性を高めることができるなど、市民や学生等の学習活動に寄与するもの。

なお、連携開始当初はそれぞれの図書館において相手方の蔵書の閲覧・貸し出しを行う。

3 稲沢市荻須記念美術館のパートナーシップ参加や文化活動の連携

大学の学生証又は職員証等の提示により、常設展、稲沢市主催の特別展を一年間何回でも無料観覧できるもの。多くの大学生が芸術作品を鑑賞する機会を持ち、美術に親しみ、稲沢市と荻須高德を知ってもらうことで、芸術文化を理解する能力を培うもの

4 大学の特徴を生かした生涯教育・公開講座の開催による地域住民への教育機会の提供

大学の知的・人的財産を活用した専門性の高い講座や多彩なテーマを設定した講座を連携して実施することで、市民の幅広い教育ニーズを満たしていくもの

5 農産物ブランド化への取り組み

地域の伝統野菜（例．治郎丸ほうれんそう）を活用し、地域の活性化につなげていくもの

6 健康に関わる分野での調査・研究や施策における連携

食生活の地域特性を収集把握し、調査分析を行い、その成果を市の健康施策に反映させることで、市民の健康に対する意識を「治療から予防へ」という流れにつなげていくもの

7 防災対策や災害時の協力体制

大学施設の一部を避難所、一次避難場所、救助物資等の集積及び配送拠点など、災害発生時の対応拠点として機能活用するもの